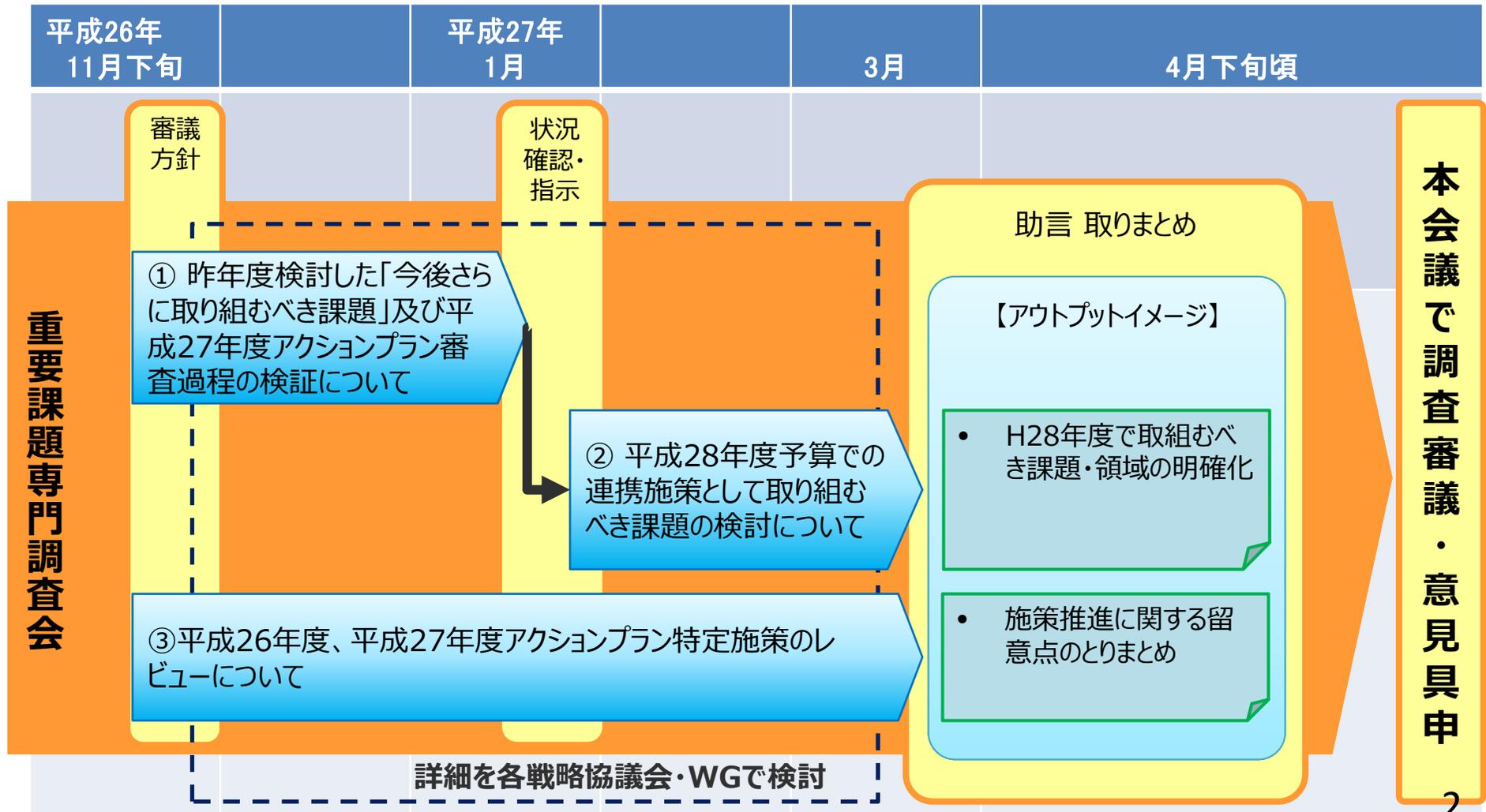


平成 26 年度地域資源戦略協議会 の進め方について（案）

平成 26 年 12 月 18 日
地域資源戦略協議会事務局

平成26年度重要課題専門調査会の審議方法について

- ◆ 重要課題専門調査会において4期基本計画及び科学技術イノベーション総合戦略に掲げられた当面取り組むべき重要な課題並びに今後さらに取り組むべき課題全体を扱う
- ◆ 詳細な調査・検討を各戦略協議会・WGで行う



- ① 昨年度検討した「今後さらに取り組むべき課題」及び平成27年度アクションプラン審査過程の検証について
- ② 平成28年度予算での連携施策として取り組むべき課題の検討について

◆ 総合戦略2014に新たに設定した検討課題と各府省から提案のあったアクションプラン対象施策

◆ 平成27年度アクションプランの審査過程

上記2点について検証し平成28年度予算での連携施策として取り組むべき課題をとりまとめる。

実施内容	進め方（案）	成果の活用
1. 総合戦略2014に新たに設定した検討課題と各府省から提案のあったアクションプラン対象施策の検証	◆ 総合戦略2014に新たに設定した検討課題について、アクションプラン対象施策として提案がなかった課題を明確化、問題点の抽出を行い、再整理する	● 平成28年度予算での連携施策として取り組むべき課題のとりまとめ（プライオリティ付け、連携の先導体制）
2. 平成27年度アクションプランの審査過程の検証	◆ 平成27年度アクションプランの審査過程における問題点を抽出し、改善点について検討	

※①については専門調査会（戦略協議会・WGを含む）構成員にて議論を行う
 ※②については各省関係機関等が参画し議論を行う

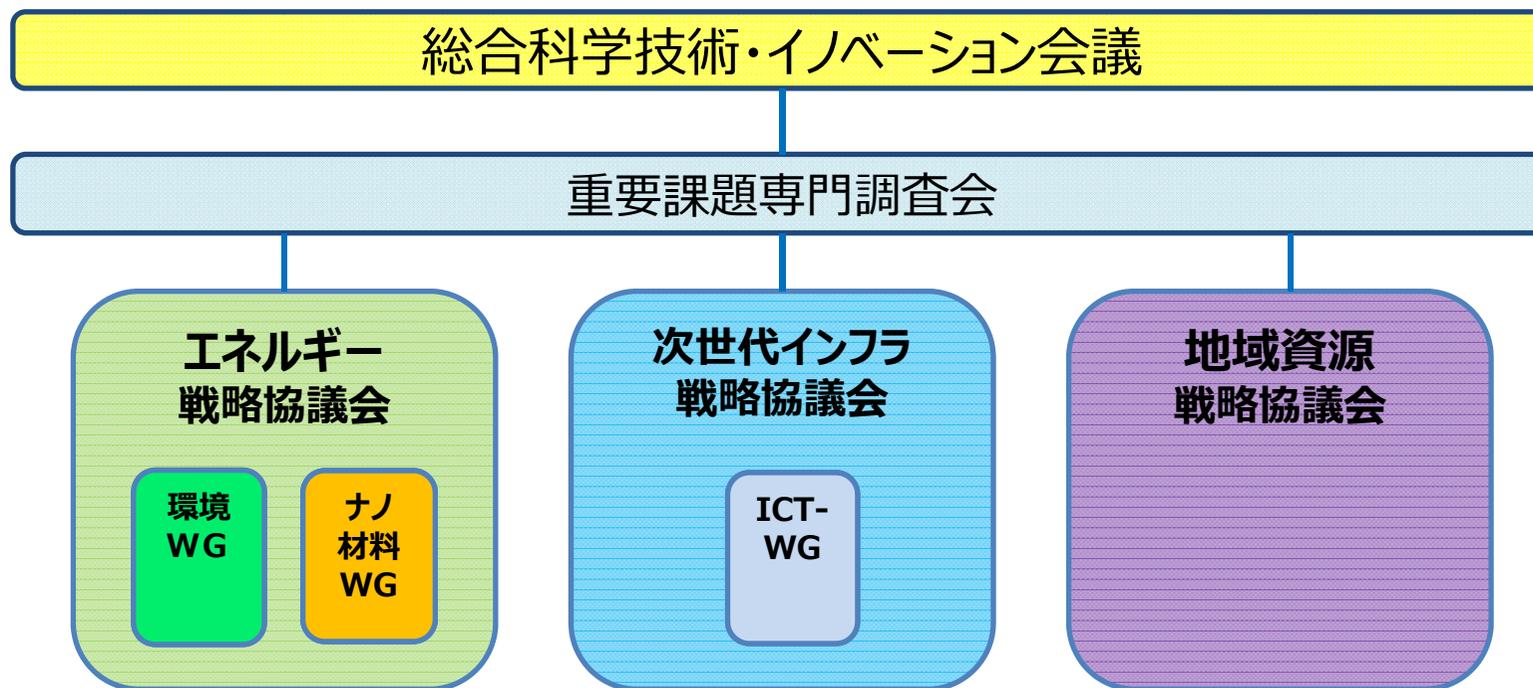
③ 平成26年度、平成27年度アクションプラン（AP） 特定施策のレビューについて

第4回重要課題専門調査会
資料3（平成26年11月27日）

- ◆ 平成27年度APの代表的な連携施策に関して、予算見積もりを踏まえた連携の中身の確認を行うとともに、政府予算案を踏まえたH27AP施策の方針について昨年度とりまとめた助言の対応状況も踏まえた各府省からの対応状況説明、専門調査会（戦略協議会・WGを含む）構成員からの社会実装に向けた留意点等の指摘を通じて「助言」を取りまとめる。

	1 1	1 2	1	2	3	4
重要課題 専門調査会	【第1回】 ◆検討方針議論		【第2回】 ◆戦略協議会・WGの検討状況報告			【第3回】 ◆助言とりまとめ
戦略協議会 ・WG		【第1～2回】 ◆H27APの予算見積もりを踏まえた連携の中身について確認	【第2～3回以降】 ◆平成26年度AP助言対応状況、H27政府予算案を踏まえたH27AP施策の方針確認 ◆構成員からの留意点等の指摘 ◆助言案とりまとめ			

- ◆ アクションプランのレビューについては、アクションプランを特定した重点対象もしくは分野横断技術を担当する戦略協議会・WGにて行う（別添参照）
- ◆ 分野横断技術で構成される連携施策については、各担当WGにて連携施策としてのレビューを行う
- ◆ 戦略協議会でレビューを担当する連携施策に分野横断技術を含む場合、各担当WGにて連携方策の審議も含めて個別施策についてのレビューを行い、その結果を貢献する政策課題を担当する戦略協議会が活用し、連携施策としてのレビューを行う



地域資源戦略協議会 各回の議題（案）

回数	予定時期	①昨年度検討した「今後さらに取り組むべき課題」及びH27AP審査過程の検証	②H28予算での連携施策として取り組むべき課題の検討	③H26、H27AP特定施策のレビュー
第6回 (農業)	12/18 (木) 13:30-15:00	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 昨年度検討した「今後さらに取り組むべき課題」の対応状況の検証について ◆ H27AP審査過程の検証について 		<ul style="list-style-type: none"> ◆ AP特定施策のレビュー方針について
第7回 (ものづくり)	1/16(金) 15:00-17:00			
第8回 (農業)	2月上旬	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 第6回の議論を各省と共有 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ ①③を踏まえたH28APで取り組むべき課題について議論(1) 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 第6回の議論を各省と共有 ◆ AP特定施策のレビュー(1)
第9回 (ものづくり)	2/19(木) 13:00-15:00	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 第7回の議論を各省と共有 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ ①③を踏まえたH28APで取り組むべき課題について議論(1) 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 第7回の議論を各省と共有 ◆ AP特定施策のレビュー(1)
第10回 (農業)	3/4(水) 10:00-12:00		<ul style="list-style-type: none"> ◆ ①③を踏まえたH28APで取り組むべき課題について議論(2) 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ AP特定施策のレビュー(2)
第11回 (ものづくり)	3/11(水) 10:00-12:00			
第12回 (ものづくり)	3/25(水) 10:00-12:00	報告書（案）とりまとめ		
第13回 (農業)	3/30(月) 13:00-16:00			

地域資源戦略協議会構成員（農業）

■担当領域

- (1) 競争力の源泉となる高機能・高付加価値農林水産業の開発
- (2) 市場と富を拡大する農林水産業の生産・加工・流通システムの高度化

■メンバー

主担当領域	お名前	ご所属
全体とりまとめ	◎生源寺 眞一	名古屋大学大学院 生命農学研究科 教授
全体俯瞰	井邊 時雄	(独) 農業・食品産業技術総合研究機構 理事長
(1)	磯部 祥子	(公財) かずさDNA研究所 植物ゲノム応用研究室 室長
	西村 いくこ	京都大学大学院 理学研究科 教授
	渡邊 和男	筑波大学大学院 生命環境科学研究科 教授
	大竹 康之	アサヒグループホールディングス(株) R&Dセンター 所長
	吉川 敏一	京都府立医科大学 学長
(2)	篠崎 聡	(株) 前川製作所 国際大型プロジェクト技術研究所 副所長
	澁澤 栄	東京農工大学大学院 農学研究院 教授
	新福 秀秋	農業生産法人(有) 新福青果 代表取締役
	若林 毅	富士通(株) イノベーションビジネス推進本部 SVP

◎重要課題専門調査会専門委員で座長

地域資源戦略協議会構成員（ものづくり）

■担当領域

（3） 価値創成につながるものづくりシステムの最適化と地域ビジネスの振興

■メンバー

主担当領域	お名前	ご所属
全体とりまとめ	◎森 和男	つくば市 理事
(3)	青島 矢一	一橋大学 イノベーション研究センター 教授
	石出 孝	三菱重工業（株）技術統括本部 名古屋研究所研究所長
	上田 完次	東京大学 名誉教授
	上野 保	東成エレクトロビーム（株） 代表取締役会長
	小平 紀生	三菱電機（株）FAシステム事業本部 機器事業部 ネット技術統括担当部長
	中島 義雄	ナカシマメディカル（株） 代表取締役社長
	新野 俊樹	東京大学 生産技術研究所 教授
	馬來 義弘	（公財）神奈川科学技術アカデミー 理事長
	三尾 淳	地方独）東京都立産業技術研究センター 事業支援本部 地域技術支援部 城東支所長

地域資源（農業）におけるH27 A P 特定状況について

重点的課題	重点的取組	連携施策名	SIP補完 ／新たな先導	新規 ／継続	施策番号	施策名
農林水産業を 成長エンジンと して育成	競争力の源泉となる高 機能・高付加価値農林 水産物の開発	有用遺伝子情報等の共有による新 たな育種体系の確率の迅速化	SIP補完	継続	地・農03	ゲノム情報を活用した農畜産物の次世 代生産基盤技術の開発
			SIP補完	新規	地・農04	花きの国際競争力強化に向けた技術 の開発
		原料供給から製品の開発・製造ま でC N Fの一貫製造プロセスの構 築	新たな先導	新規	地・経03	高機能リグノセルロースナノファイバーの 一貫製造プロセスと部材化技術開発
			新たな先導	継続	地・農05	革新的技術創造促進事業
	市場と富を拡大する農 林水産物の生産・加工・ 流通システムの高度化	日本の和食文化を維持するためのウ ナギ種苗の大量生産技術開発の加 速化に向けた優良品種の開発	SIP補完	継続	地・農02	ウナギ種苗の大量生産システムの実証 事業
			SIP補完／新 たな先導	継続	ナ・経06 (再掲)	非可食性植物由来原料による高効率 化学品製造プロセス技術開発
		石油由来資源からの脱却と二酸化 炭素排出量の削減に向けたバイオマ ス資源の利活用に関する研究開発	SIP補完／新 たな先導	継続	工・農01 (再掲)	地域バイオマス資源を活用したバイオ燃 料及び化学品等生産のための研究開 発

地域資源（ものづくり）におけるH27AP特定状況について

重点的課題	重点的取組	連携施策名	SIP補完 ／新たな先導	新規 ／継続	施策番号	施策名
地域活性化に繋がる産業競争力の強化	価値創成につながるものづくりシステムの最適化と地域ビジネスの振興	次世代金属3Dプリンタによる高付加価値ものづくり強化	SIP補完	継続	地・経01	三次元造形技術を核としたものづくり革命プログラム
		ロボット活用型市場化適用技術開発プロジェクト	新たな先導	新規	地・経04	ロボット活用型市場化適用技術開発プロジェクト